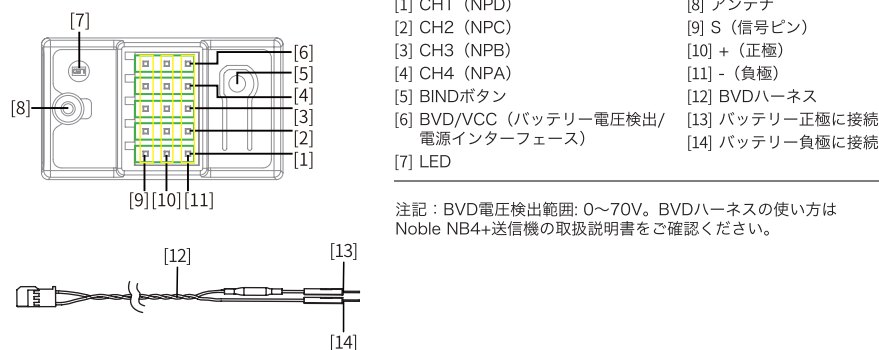


はじめに

FGr4B受信機は、Flyskyの第3世代自動周波数ホッピングデジタルシステム（AFHDS 3）を採用しています。単一アンテナテレメトリーシステムを使用し、独自の設計でインストールされています。4つのNewport機能インターフェイスをサポートしています（Newport インターフェイスは、入力または出力信号タイプ（i-BUS2/S.BUS/i-BUS/PPMなど）でカスタマイズできます）。AFHDS 3プロトコルをサポートするすべての送信機に適合します。

受信機の概要



製品仕様

- ・製品モデル：FGr4B
- ・対象送信機：AFHDS 3プロトコルを備えたすべての送信機
- ・対象モデル：自動車やボートなど
- ・PWMチャンネル数：4
- ・RF（無線周波数）：2.4GHz ISM
- ・プロトコル：AFHDS 3
- ・アンテナ：シングルアンテナ
- ・入力電圧：3.5～9V
- ・データ出力：PWM/PPM/i-BUS2/S.BUS/i-BUS
- ・温度範囲：-10℃～+60℃
- ・湿度範囲：20%～95%
- ・オンライン更新：あり
- ・寸法：17×29×16.6mm
- ・重量：6.4g
- ・認証：CE、FCC ID: N4ZFG4B000、25584-FGR4B000、TELEC

バインディング

1. 送信機をバインディングモードにします。
2. 最初に受信機の電源を入れ、次にBINDボタン[5]を3秒間押し続けます。受信機のLED[7]が高速点滅し、受信機がバインドモードになっていることを確認します。
3. 受信機のLEDが点滅を停止して点灯したら、バインドモードは完了です。
 - ・無線周波数（RF規格）が「AFHDS3 1 Way」に設定されている送信機（送信機のマニュアルを参照してください）がバインディングモードに入ると、LEDがゆっくりと点滅します。バインディングモードを終了するには、送信機側で戻るボタンを押す必要があります。受信機のLEDが点滅を停止して点灯している場合は、バインディングモードが完了しています。
4. 送信機と受信機の機能が正しく動作していることを確認し、問題が発生した場合は手順1～3を繰り返します。

ファームウェアの更新

受信機とバインドされ、受信機のファームウェアが組み込まれている送信機で受信機のファームウェアを更新します。送信機との接続を確立するFlySky Assistantで更新することもできます。

受信機のファームウェアを更新している間、送信機は受信機とバインドできないため、受信機はファームウェアを強制的に更新する必要があります。受信機を更新モードにする方法は2つあります。

- ・BINDボタンを押しながら受信機の電源を入れ、LEDが3回点滅したらBINDボタンを放します。
- ・最初に受信機の電源を入れ、BINDボタンを押し続けます。LEDが3回点滅したら、BINDボタンを放します。

フェイルセーフ

フェイルセーフ機能は、受信機が信号を失い制御不能になった時に、周囲の安全のためにユーザーが設定した位置に各チャンネルの信号を出力します。

また、各チャンネルにそれぞれフェイルセーフを設定することもできます。この受信機は、[出力なし]、[ホールド]、[固定値]の3つのフェイルセーフ モードをサポートしています。

[出力なし] ステアリングは最後の出力値を保持し、スロットルは出力しません。

[ホールド] 最後の出力値を保持します。

[固定値] 各チャンネルに設定されたフェイルセーフ値を出力します。

注記：

1. PPM/i-BUS/S.BUS/i-BUS2などのバス信号タイプの場合、これらのチャンネルの1つまたは複数を選択したモードにすることはできません。チャンネルが[出力なし]モードに設定されている場合、実際の信号は最後の出力値で保持されます。
2. S.BUS/i-BUS2信号情報にはフェイルセーフフラグビットが含まれているため、各チャンネルのフェイルセーフ設定は、フェイルセーフフラグビットによって後続のデバイスに伝達されます。接続されたデバイスがフェイルセーフフラグビット分析をサポートしている場合、制御不能になった後、各チャンネルに設定されたフェイルセーフ値が出力されます。
3. フェイルセーフフラグビットのない信号PPM/i-BUSの場合、制御不能になった場合に信号を[出力なし]モードに設定できます。[出力なし]モードに設定した後は、各チャンネルのフェイルセーフの設定に関係なく、制御不能になった後、各チャンネルは[出力なし]モードになります。

互換性

FGr4B受信機は、AFHDS3プロトコルをサポートするすべての送信機と互換性があります。

注意

- ・送信機をオフにする前に、受信機の電源がオフになっていることを確認してください。そうしないと、制御不能になります。フェイルセーフを不当に設定すると、事故につながる可能性があります。
- ・受信機がモーター、電子速度コントローラー、または過度の電気ノイズを発するデバイスから離れた場所に取り付けられていることを確認してください。
- ・受信機のアンテナは、カーボンや金属などの導電性材料から少なくとも1cm離してください。

認証

FCC 準拠声明

このデバイスは、FCC規則のパート15に準拠しています。操作には、次の2つの条件が適用されます。(1) このデバイスは有害な干渉を引き起こしてはなりません。(2) このデバイスは、望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含む、受信した干渉をすべて受け入れる必要があります。

警告: 準拠の責任者によって明示的に承認されていない変更または修正は、ユーザーの機器の操作権限を無効にする可能性があります。

この機器は、FCC規則のパート15に従って、クラスBデジタル デバイスの制限に準拠していることがテストされ、確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対する適切な保護を提供するように設計されています。この機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置で干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合（機器の電源をオン/オフすることで確認できます）、ユーザーは、次の1つ以上の対策を講じて干渉を修正することをお勧めします。

→ 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変えます。

→ 機器と受信機の距離を広げます。

→ 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続します。

→ 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者にご相談ください。

EU DoC 宣言

ここに、[Flysky Technology Co., Ltd.]は、無線機器[FGr4B]がRED 2014/53/EUに準拠していることを宣言します。EU DoCの全文は、次のインターネットアドレスでご覧いただけます：www.flyskytech.com/info_detail/10.html

RF 曝露コンプライアンス

この機器は、制御されていない環境に対して規定された FCC/ISED RF放射線曝露制限に準拠しています。この機器は、機器と身体の間に最低20センチメートルの距離を置いて設置および操作する必要があります。

環境に優しい廃棄

古い電気機器は、残留廃棄物と一緒に廃棄してはならず、別々に廃棄する必要があります。個人による共同収集ポイントでの廃棄は無料です。古い機器の所有者は、これらの収集ポイントまたは同様の収集ポイントに機器を持ち込む責任があります。この小さな個人的な努力により、貴重な原材料のリサイクルと有毒物質の処理に貢献できます。

IC ステートメント

このデバイスには、カナダのイノベーション、科学、経済開発のライセンス免除RSSに準拠するライセンス免除の送信機/受信機が含まれています。動作には次の2つの条件が適用されます。

(1) このデバイスは干渉を引き起こす可能性はありません。

(2) このデバイスは、デバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れる必要があります。



210-170747

FCC ID: N4ZFG4B000

IC ID: 25584-FGR4B000

製造元：深圳FLYSKYテクノロジー株式会社

住所：中国広東省深圳市福田区深南路6006号華豊ビル16階

このマニュアルに記載されている図やイラストは参考用であり、実際の製品の外観とは異なる場合があります。製品のデザインや仕様は予告なく変更されることがあります。



京商ホームページ
www.kyosho.com

*KYOSHO CORPORATION hereby declare that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC. The Declaration of Conformity (DoC) can be downloaded at following URL.
www.kyosho.com/eng/support/doc/index.html

*Hiermit erklärt die KYOSHO Corporation, dass dieses Produkt in Übereinstimmung mit der Richtlinie 1999/5/EC ist und ihr in allen relevanten Punkten entspricht. Die Konformitätserklärung kann unter dem folgenden Link abgerufen werden:
www.kyosho.com/eng/support/doc/index.html

*Par la présente, KYOSHO CORPORATION déclare que cet équipement est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions de la directive 1999/5/CE qui lui sont applicables. La déclaration de conformité peut être consultée à l'adresse suivante: www.kyosho.fr/rtte-doc.htm

*Por medio de la presente KYOSHO declara que este producto cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE. La Declaracion de Conformidad (DoC) puede descargarse en la siguiente direccion de Internet: www.kyosho.com/eng/support/doc/index.html

メーカー指定の純正部品を使用して
安全にR/Cを楽しみましょう。

FCC CAUTION

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

京商株式会社

〒243-0021 神奈川県厚木市岡田3050 厚木アクストメインタワー7F

●ユーザー相談室直通電話 046-229-4115

お問い合わせは：月曜～金曜(祝祭日を除く)13:00～18:00

PRINTED IN CHINA